

算数科 小学校 4年

単元名 「小数」
啓林館「わくわく算数4上」

単元の流れ（全8時間）

【第1次】第1・2時

主な学習内容

- ◇第1時 10cmが0.1mとなることの発展として、0.01mの小数の表し方を知る。
- ◇第2時 明石海峡大橋の長さをkm単位で表すことを考える。

「活用」の力育成のために

(ポイント①)

具体的な場面設定から、問題文を正しく読み取り、題意を理解する。

【第2次】第3～6時

主な学習内容

- ◇第3時 0.1, 0.01, 0.001は1の何分の1になるかを考える。
- ◇第4時 小数点から右の各位の用語を知り、小数と整数の仕組みについてまとめる。
- ◇第5時 5.14を10倍、100倍した数の求め方について考える。(本時)
- ◇第6時 32.4を10分の1、100分の1にした数の求め方について考える。

「活用」の力育成のために

(ポイント②③)

自分の考えや解決方法を根拠を示して説明する。



【第3次】第7・8時

主な学習内容

- ◇第7時 練習とたしかめ道場をする。
- ◇第8時 評価テストを行う。

単元目標

- 小数の範囲を広げ、十進位取り記数法の考え方を通して、整数及び小数についての理解を深める。

単元構成の意図

本単元では、「一億をこえる数」に関する4年生での学習内容を前提に発展させ、新しく1/1000にまで広げていくことをねらいとしている。走り幅跳びの記録や明石海峡大橋の長さなど生活に関係する数値を扱うことにより、身近に「小数」が使われているということを再確認させる。

また、小数と整数を連続したものとしてとらえるために十進位取り記数法の仕組みを効果的に活用する。

小数の相対的な見方については、1, 0.1, 0.01, 0.001の相互関係や数直線を利用して、十分に理解させるようにする。

「活用」の力を育てるポイント

- ①児童の生活や経験に基づいた場面設定をすることで、問題場面を的確に読み取る力を身に付けさせる。
- ②相対的な見方の指導にあたっては、答えともとの数を見比べ、各位の数字の位の上がり方、下がり方に気付かせるよう十進位取り記数法をもとに考える場面を設定する。
- ③自分の考えの根拠を示して説明する力を育てるために、グループや全体協議の場を多く設定する。

HOME

本時の流れへ

評価問題